

(ここにこ)通心

平成30年3月

vol. 89

あ

結婚16年、最大の勇気をふり(ござ)ました!!

2/23～25(日) 富士山の麓にある富士高原研修所にて行われた研修に参加してきました。主催は一般社団法人倫理研究所、僕が所属する富山市倫理法人会の本部ですね。研修内容は“あたり前のことであたり前にする”、そのひとつとして後始末(後片づけ)の徹底でした。後始末は、「使わせていただいたことへの感謝の気持ち」と「次に使う人への思いやり」が大切。この後始末、僕が普段いかに適当にしているか、途中で妥協して「まあ、こんばんやう」と中途半端に行っていたが、を思い知らされることに。講師から「妥協グセのある自分に甘い気持ちが、仕事や家庭のあらゆるところに出ててしまうよ」と厳しくも有難いアドバイスをいただきました。

本(もと)を忘れて 末を乱さず

後始末をきちんとすること、そして本(もと)への感謝の気持ちを忘れない、という意味です。本というのは始まりのことを指し、突き詰めて考えると、親でありご先祖様のこととも言えます。後始末を徹底していく中で、両親やご先祖様のことを深く考えさせられる時間がありました。

研修最終日、「大切な人へ手紙を書く」という時間がありました。

僕は妻に宛てて書くことにしました。

僕と妻との間には、ハッキリとさせていない問題があり、そのことを書きました。

今までのお詫びと感謝、全部書いて、これからもヨロシク! で終びました。

彼女を前に、それっぽい音楽をかけながら読んで渡しました。〃

何年ものわだかまりがスーっととけていくのが分りました。

最近教えてもらった言葉で、苦笑いしながらも「なるほどなー」と納得した言葉があります。

「夫の仕事は妻を喜ばせること」

妻が明るく過ごしてくれると、家の中が明るくなる。家が心地よくなる。心の安定が仕事に好結果を。とまあ、文字で書く(ほどうまくはいきませんが)(笑) 家庭は社会の練習の場。
循環。

相手は自分の思い通りにはならないもの。このことを知って受け入れて、自分が変わら努力する。

相手の言葉に反応するのではなく、自分の感情には自分で責任を持つ。

毎日生活していく上で、大切な心構えを2泊3日の研修で学ばせていただきました。

それはどうか、今回の研修、美しい富士山が背後にありながら一度たりともゆっくり眺めることができない、とてもハードなものでした。次回は是非ゆっくりと景色を味わいたいものです。